

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 教育センター管理運営事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額		
経常	単独	通常	0	0	1,227			平成23年度	-
								平成24年度	-
								平成25年度	-
								平成26年度	-
							平成27年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		1,398

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								1,398

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・佐倉市学習状況調査の結果をはじめ、各種調査や研究の結果を報告書、リーフレット、センターだよりやホームページを通じて教職員や市民に情報提供します。</p>	<p>(事業の目的) 市内小中学校教職員及び市民の方に有効な教育情報を提供し、授業改善や家庭教育に役立つようにします。</p>	<p>(事業の効果) センターから様々な手段で発信した教育情報が、教職員や市民に有効活用され、学校での児童生徒への教育の質が高まったり家庭教育の充実が図れたりします。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 全国学力・学習状況調査の全校実施が数年おきになり、抽出校での実施が主となり、市内全校で実施の佐倉市学習状況調査のあり方を検討していく必要がある。また、調査結果を学力向上プランにいかす方法を確立する。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 就学指導、教育相談の電話での保護者対応の件数拡大による電話料の増加に対応するために、電話料を見直す。 また、調査研究を広く知っていただくことを目的としてセンター紀要やリーフレットを作成しているが、学力向上に向けた有効な情報の提供にさらに力を入れていく。</p>	<p>(見積についての特記事項) 教育センターは、教育関係者だけでなく、多くの市民に有益な情報を発信していきたいと考えている。また、資料室などもより多くの市民に活用していただきたいと考えている。開設から9年が経ち、今まで以上に市民のニーズに応えられるよう、調査研究を深めるとともに、教育相談業務も充実させていきたい。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	267	270	△3
11	656	677	△21
12	200	198	2
14	205	200	5
18	60	60	0
19	10	10	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	1,398	0